



地球のステージとは

1996年1月に始まったコンサートステージ「地球のステージ」。全国の教育現場を中心に開催を続け、2022年11月にはのべ4000回の公演を迎えました。公演に共感した有志の方が企画する自主企画公演も全国各地で行っています。世界は私たちが思うよりも広くて、い

ろいろな生き方、考え方をを持った人がいます。視野を広げ、多様性に五感を傾け、頭で考えるだけでなく心を動かして感動し共感する。そして、自分自身の可能性を広げていく。そのための第一歩が「地球のステージ」公演の中にたくさん散りばめられています。



NPO法人 地球のステージ代表理事

桑山紀彦 プロフィール

これまでタイ・カンボジア国境の難民キャンプを皮切りに、湾岸戦争後のイラク、ソマリア、旧ユーゴスラビア、カンボジア、東ティモールなどで医療支援活動を行っている医師。現在も年に数回、東ティモールやパレスチナで医療支援活動を展開している他、地震等の緊急医療支援、被災者の心のケアにも携わっている。NPO法人地球のステージ代表理事。2009年11月、宮城県名取市に東北国際クリニックを開設、2011年3月の東日本大震災では自ら被災しながらも、震災翌日から2ヶ月間、24時間体制で診療を行い、その後は被災したみなさんの心に寄り添いながら診療を続ける。2016年4月、神奈川県海老名市に海老名こころのクリニックを開設、日々の診察にあたる。2020年3月、医療功労賞受賞。

本公演に関して

調布中学校長 梶山剛史

この度、東京調布ロータリークラブ様の全面的なサポートにより、本校にて平和学習をテーマに「地球のステージ」が開催されることとなり、大変嬉しく、有難く思います。

昨今、世界各地で紛争が勃発しています。そのような中だからこそ、生徒と共に他人事ではなく自分事として「平和とは何か」「自分にもできることはないか」など考えることができ、この講演を通じて、一人一人が次代を担う人材として、自分自身を見つめ直すきっかけとなればよいと期待しています。

多くの皆さまに豊かな学びと感動をお届けする機会として。

東京調布ロータリークラブ2025-2026 会長 矢幡秀治

本公演は、多くの皆さまに豊かな学びと感動をお届けする機会として、そして、世界の情勢に目を向けていただくため、東京調布ロータリークラブが企画、NPO法人地球のステージの桑山様をお招きし、実現いたしました。当日は、幅広い世代の方々に心に残る体験をしていただけることと思います。どうぞお誘い合わせのうえご来場いただき、共に貴重なひとときを過ごしていただければ幸いです。皆さまのお越しを心よりお待ち申し上げます。